

## [010]九州大学生体防御医学研究所年報 : 1995年

<https://hdl.handle.net/2324/2195860>

---

出版情報 : 九州大学生体防御医学研究所年報. 10, pp.1-, 1996. Medical Institute of Bioregulation, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :

## 附属病院検査部 Diagnostic Laboratory

4月には技師8名中4名の業務分担の変更を行った。また、同月新規にELISA分析機(Berlinger Elisa Processor III)が導入され、7月より稼働を開始した。これとは別に新規に測定を開始した項目としては、抗核抗体(蛍光抗体法)と乳癌CEAが挙げられる。

本年のもっとも大きな事業は、10月より開始された病院大型改修に伴う機器の移動であった。改修中も全ての検査業務を継続するという原則の基に、複数の大型分析機を従来の3分の1のスペースに押し込んで業務を行った。この間、業務負担の少なくなる担当者3名は、県内外の他の医療施設にて院外研修を行った。

平成9年1月導入予定の病院全体のコンピュータシステムに伴い、検査業務が大きく変化するため、検査部運営懇談会において種々の検討が行われた。医療情報システム仕様策定委員会において、検査システム自体は現有のものを使用しオーダリングを実現することが決まり、準備が進められた。

### 業績目録

#### 原著論文

1. Yamasaki,K., Yoshikawa,Y. 1995.  
Coronary arterial abnormalities in hyperlipidemic rats with renal failure.  
Laboratory Animal Science 44, 125-130.
2. Miwa,K., Miyamoto,S., Kato,H., Imamura,T., Nishida,M., Yoshikawa,Y., Nagata,Y., Wake,N. 1995.  
The role of p53 inactivation in human cervical cell carcinoma development.  
British Journal of Cancer 71, 219-226.
3. Ueo,H., Inoue,H., Abe,R., Arinaga,S., Nakashima,H., Shibuta,K., Yoshikawa,Y., and Akiyoshi,T. 1995.  
Surgical treatments for oesophageal cancer concomitant with gastric adenoma with severe epithelial atypia.  
European Journal of Surgical Oncology 21, 573-575.
4. Nakashima,H., Ueo,H., Yoshikawa,Y., Yamasaki,K., Mori,M., Akiyoshi,T. 1995.  
Glycogen-rich clear cell carcinoma of the breast: A case report and review of the

literature.

Breast Disease 8, 375-379.

5. 吉河康二. 1995.  
スライドカンファランス.  
日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 26; 147-149.
6. 吉河康二, 伊東義和, 伊藤信一. 1995.  
ファイルメーカーProによる細胞診断システム.  
日本臨床細胞学会大分県支部会誌. 6; 25.
7. 橋本 通, 神宮政男, 田原 亨, 江崎一子, 吉河康二, 延永 正. 1995.  
皮膚筋炎を合併した慢性関節リウマチ症例—特に酵素結合免疫グロブリンについて.  
九州リウマチ 14(2); 100-106.
8. 橋本 通, 神宮政男, 吉河康二, 野中史郎, 和田哲也, 一番ヶ瀬義彦, 延永 正. 1995.  
若年性関節リウマチ, 慢性関節リウマチに続発した小腸アミロイドーシスの2例.  
リウマチ 35(1); 100-106.

#### 学会発表

1. 吉河康二 (1995, 7/15-16).  
スライドカンファランス.  
第11回日本臨床細胞学会九州連合会, 大分.
2. 吉河康二, 伊東義和, 伊藤信一 (1995, 2/26).  
ファイルメーカー Pro による細胞診断システム.  
第10回日本臨床細胞学会大分県支部総会, 大分.
3. 江崎一子, 岡田全司, 吉河康二, 塩川佐斗志, 橋本 通, 神宮政男, 山本一彦 (1995, 11/28).  
関節炎モデルマウスにおけるリウマトイド因子の役割.  
第25回日本免疫学会総会. 福岡.
4. 神宮政男, 吉河康二, 江崎一子, 末松左知子, 吉田進昭, 岸本忠三, 岡田全司 (1995, 7/20).  
IL-6トランスゲニックマウスを用いた関節炎モデルの解析.  
第16回日本炎症学会総会. 東京.
5. 江崎一子, 岡田全司, 吉河康二, 橋本 通, 神宮政男, 延永 正 (1995, 5/11).  
ヒト型 IgG リウマトイド因子を用いた SCID マウスの関節炎誘導.  
第39回日本リウマチ学会, 神戸.